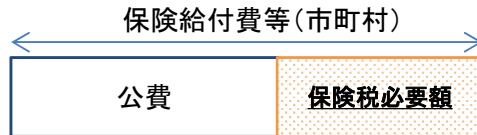


# 国保事業費納付金及び市町村標準保険税率の算定方法について（1）

## 制度改革前

### 各市町村が保険税率を算定

- ・各市町村は医療費等の推計をもとに、保険給付費等を算定
- ・算定した保険給付費等から公費（国庫負担金等）を差し引いた保険税必要額に基づき保険税率を算定

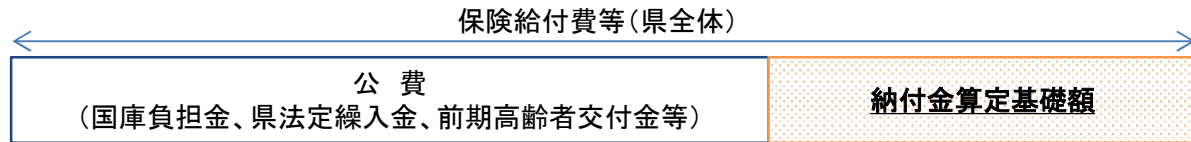


## 制度改革後

1

### 県が県全体の納付金算定基礎額（納付金必要額）を算定

- ・県全体の保険給付費等から県への公費（国庫負担金等）を除算し、納付金算定基礎額を算定



納付金算定基礎額を各市町村の医療費水準、所得水準等に基づき按分して負担を求める

2

### 市町村ごとの納付金額を算定

(1) ① 応能部分：市町村の所得水準の反映

所得が高い市町村には、多くの納付金額を割り当てる（支払う能力が大きい）

② 応益部分：市町村の被保険者数と世帯数の割合の反映

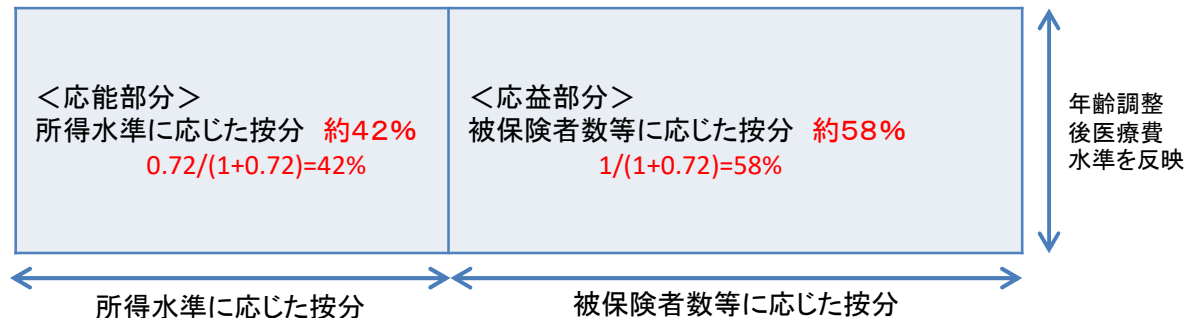
被保険者数等が多い市町村には、多くの納付金額を割り当てる（支払う人数が多い）

(2) 市町村の年齢調整後医療費水準の反映（医療分のみ）

医療費が高い市町村には、多くの納付金額を割り当てる（費用が多くかかっている）

(3) 応能部分・応益部分と医療費水準に応じて按分

◎市町村ごとの納付金シェアの求め方（下図の面積） ※全国を1とした場合の大分県の所得水準 = 0.72

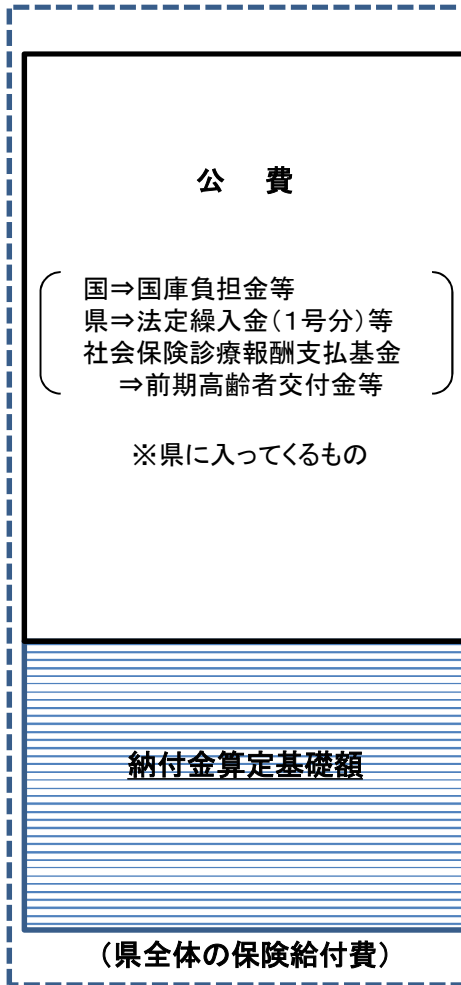


# 国保事業費納付金及び市町村標準保険税率の算定方法について（2）

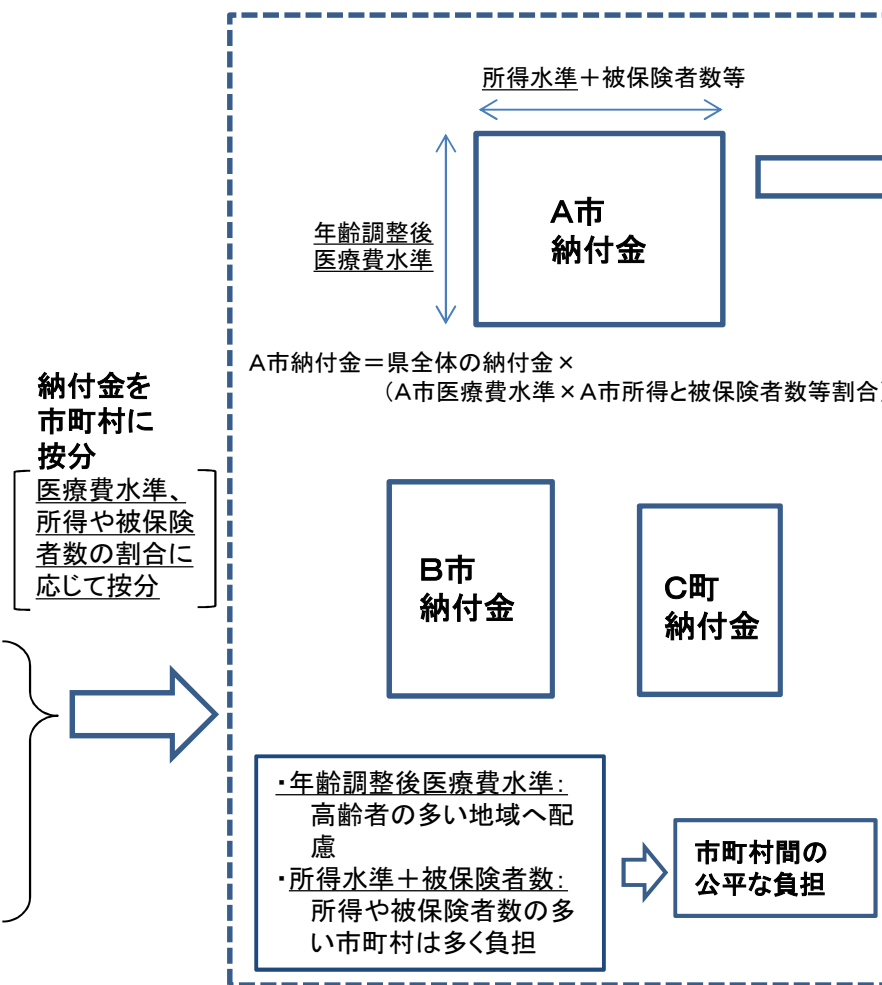
## 国保事業費納付金の算定

## 標準保険税率の算定

### ①県全体保険給付費等の推計



### ②市町村ごとの納付金額の決定



### ③保険税必要額・標準保険税率の算定

